

埼玉学園大学・川口短期大学 機関リポジトリ

Report on Research and Educational Activities

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://saigaku.repo.nii.ac.jp/records/1577

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



埼玉学園大学 人間学部 専任教員 研究・教育活動 (令和4年1月～12月)

人間文化学科

伊藤 栄晃 教授

【その他】

1. コラム (経世済民) 「「タラス・ブーリバ」とウクライナ危機」, 『埼玉新聞』3月1日

柴田 勝二 教授

【著書】

1. (部分単著) 「夏目漱石と近代日本」 「村上春樹と東アジア」, 坂本恵他編 『国際日本研究への誘い』, 東京外国語大学出版会, 4月
2. (部分単著) 「村上春樹」, 日本近代文学館編 『日本近代文学大事典[増補改訂デジタル版]』, 日本近代文学館, 5月

【論文等】

1. (単著) 書評「福田大輔著『筋肉のメラニコリー—ラカンとともに読む三島由紀夫—』(晃洋書房,2021年)」, 『三島由紀夫研究』22号, 鼎書房, 4月
2. (単著) 論文「「芸術家」としての統治者—『わが友ヒトラー』における革命と反革命—」, 『梅光学院大学論集』25号, 梅光学院大学, 7月
3. (単著) 論文「〈生き延びた者〉の行方—『朱雀家の滅亡』『十日の菊』と日米関係—」, 『敍説』Ⅲ—20, 花書院, 9月
4. (単著) 論文「回帰する〈終わり〉—『弱法師』における戦争と戦後—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【その他】

1. 早稲田大学エクステンションセンター市民講座講師「三島由紀夫の劇世界」, 早稲田大学エクステンションセンター, 8～9月 (5回)

布村 育子 教授

【論文等】

1. (単著) 論文「日本教職員組合の平和運動と朝鮮戦争」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【学会、研究報告】

1. 布村育子・広田照幸, 「日教組定期大会にみる「平和教育」—1950-70年代の変化—」, 日本教育学会第81回大会, 広島大学, 8月

福島 良一 教授

【論文等】

1. (単著) 論文「日米非戦論者水野広徳の対米態度」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

湯浅 吉美 教授

【論文等】

1. (単著) 論文「東寺観智院金剛蔵『關東山内諸堂建立事』(108箱5号)の調査報告と翻刻」, 『成田山
仏教研究所紀要』第45号, 成田山新勝寺, 2月
2. (単著) 研究ノート「鎌倉時代の文書に見る時刻表記」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号,
12月

【学会、研究報告】

1. 「具注暦原本調査の経験から—その着眼点と留意点—」, 陰陽道史研究会, オンライン開催, 10月

【その他】

1. 成田山仏教文化講座「奈良仏教における現世利益と後の世—仏教説話を題材として—」, 成田山新
勝寺, 1月
2. 埼玉学園大学公開講座「さいたま学のすそ野」第1講「サキタマの立地と古代・中世」, オンデマン
ド動画配信, 2月
3. 川口市生涯学習プラザ主催講座「古文書入門」, 川口市生涯学習プラザ, 3月
4. 成田高校宗教講話会「仏教史研究40年をふりかえって」, 成田高等学校, 6月

穴井 潤 専任講師

【論文等】

1. (他共著) 注釈「『言葉集』注釈(二)」, 『福岡女学院大学大学院人文科学研究科紀要 比較文化』第
20号, 福岡女学院大学大学院, 12月
2. (他共著) 注釈「『言葉集』注釈(三)」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【学会、研究報告】

1. 「『射山集』は崇徳院の散逸家集か?—配所での和歌事蹟をめぐって—」, 和歌文学会, 早稲田大学,
12月

【その他】

1. 埼玉学園大学公開講座「さいたま学のすそ野」第2講「古典文学と武蔵野」, オンデマンド動画配信,
2月
2. 歴史講座「源平の合戦の裏で詠まれた想い—武士の歌を読む—」, 新郷公民館, 10月

太田 絵梨子 専任講師

【著書】

1. (部分単著) 「『わけ』を理解し表現する家庭学習課題」「データ分析を通じた学習法改善」, 浦野弘・
森本昭宏編著『ICTを活用した小学校デジタル教材アイデア66』, ジダイ社, 12月

【論文等】

1. (他共著) 論文「自学自習を支援する「オンライン学習法講座」の開発と高校での実践—オンライ
ン学習に応じた指導上の工夫とその効果—」, 『教育心理学研究』70巻4号, 日本教育心理学会,
12月

【学会、研究報告】

1. 太田絵梨子他, 「Consistency in designing of lessons, homework, and regular tests to promote high
school students' use of deeper-processing strategies」, ISSBD2022 (International Society for the
Study of Behavioural Development), Rhodes, 6月

【その他】

1. コラム「夏休み 子どもの自由研究（下）2人の専門家に聞く」、『京都新聞』2022年9月11日付朝刊

岡田 正樹 専任講師

【論文等】

1. (単著) 研究報告「メディア・ハブとしての楽器店」、『音楽表現学』Vol.20, 日本音楽表現学会, 11月
2. (単著) 研究ノート「落語とメディアの不透明性」、『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【学会、研究報告】

1. 「日本におけるギター・タブラチュアの導入と普及」, 日本音楽表現学会第20回大会, 浜松学院大学 布橋キャンパス, 6月
2. 岡田正樹・柴台弘毅, 「洋楽インフルエンサーとしてのヴィジュアル系ミュージシャン—hideとSUGIZOを事例に一」, コンテンツ文化史学会2022年度例会, 東京女子大学及びオンライン開催, 10月

【その他】

1. 埼玉学園大学公開講座「さいたま学のすそ野」第4講「ポップカルチャーに見る「翔／飛んで（る）埼玉」」, オンデマンド動画配信, 2月
2. 夢ナビライブ 2022 WEB in Summer「ミュージックビデオから考える『メディアとは何だ?』」, オンライン開催, 7月

高山 林太郎 専任講師

【論文等】

1. (単著) 論文「高知市方言一・二・三拍名詞アクセント資料」、『東京大学言語学論集電子版 (eTULIP)』44号, 東京大学文学部・大学院人文社会系研究科言語学研究室, 9月
2. (単著) 論文「認知集合論における記号生存—個体愛の受肉—」、『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月
3. (単著) 資料紹介「高知県伊豆田神社付近の方言の形容詞活用形のアクセント資料」、『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【学会、研究報告】

1. 「高知県伊豆田神社付近の方言の形容詞のアクセント」, 日本語学会2022年度春季大会, オンライン開催, 5月

心理学科

安崎 文子 教授

【論文等】

1. (他共著) 論文「外傷性脳損傷者の表情認知障害のリハビリテーション」、『月刊地域ケアリング』Vol.24 No.11, 北隆館, 10月
2. (単著) 論文「成人発達性吃音症例への認知神経心理学的介入の効果」、『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

大川 一郎 教授

【著書】

1. (部分単著) 3章3-1「田中ビネー知能検査」, 鈴木朋子・サトウタツヤ編『心理検査マッピング』, 新曜社, 9月

【論文等】

1. (共著) 建元喜寿・大川一郎, 「海外研修体験における日本人高校生の変容プロセス—インドネシア農村部におけるフィールドワークに焦点を当てて—」, 『ESD研究』第5号, 日本ESD学会, 8月
2. (共著) 建元喜寿・大川一郎, 「1年間のインドネシア留学が日本人高校生にもたらす変容(インドネシアに国際連携協定校がある高等学校を事例に)」, 『グローバル人材育成教育研究』10巻1号, グローバル人材育成学会, 9月

【学会、研究報告】

1. 大川一郎他, 「求職者を対象とした教育プログラムの受講効果に関する検討—大学におけるリカレント教育を通じた検討(1)—」, 第27回日本キャリアカウンセリング学会, オンライン開催, 11月
2. 大川一郎他, 「求職者を対象としたキャリア支援に関する探索的検討—大学におけるリカレント教育を通じた検討(2)—」, 第27回日本キャリアカウンセリング学会, オンライン開催, 11月
3. 大川一郎他, 「認知症高齢者の介護抵抗と徘徊への対応に関する検討—ステップ式仮説検証型事例検討による実践報告」, 日本老年行動科学会第24回大会, 京都府, 11月

【その他】

1. 大川一郎他, ワークショップ「オンラインを用いた支援(医療、福祉等)に関わる実装上の課題—事例に基づいた解決法の提案」, 日本老年行動科学会第24回大会, 京都府, 11月
2. 日本パーソナリティ学会大会準備委員会企画講演「知能検査の系譜と現代的展開—田中ビネー知能検査を軸にして—」, 沖縄県, 12月

佐々木 美恵 教授

【論文等】

1. (他共著) 論文「地震・放射線災害下において幼児を育てる母親の精神的健康—福島第一原子力発電所事故後3年時点の調査に基づく検討—」, 『発達心理学研究』Vol.33, 日本発達心理学会, 6月

羽鳥 健司 教授

【著書】

1. (部分単著) 12章「カウンセリングと心理療法」, 遠藤公久編『看護を学ぶ人のための心理学[第2版]』, 弘文堂, 12月

【その他】

1. 武田薬品工業株式会社主催「IBD Diversity Management Web-Seminar IBD患者さんのメンタルケア」講師, 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ, 5月

藤枝 静暁 教授

【著書】

1. (部分単著) 第12章「小学校における進路指導」, 山口豊一編『生徒指導と進路指導・キャリア教育』, 学文社, 1月
2. (部分単著) 第2章「学級づくりに使えるグループ・アプローチ」, 諸富祥彦編『学級づくりと授業

に生かすカウンセリング』, ぎょうせい, 1月

3. (他共著) 『体と心 保健総合大百科〈中・高校編〉2022: 2020年度保健ニュース・心の健康ニュース収録 縮刷活用版』, 少年写真新聞社, 4月
4. (監修) 『健康ハッピーシリーズ 子どものためのソーシャルスキルブック』, 少年写真新聞社, 12月

【論文等】

1. (単著) 論文「エクササイズ×道德授業 実践ソーシャルスキルトレーニング」, 『道德教育』2022年11月号, 明治図書出版, 11月
2. (単著) 論文「高学年児童の感謝スキルの獲得を目標としたソーシャルスキル教育の効果に関する検討」, 『カウンセリング研究』第54巻, 日本カウンセリング学会, 印刷中

【その他】

1. 記事「新年度の不安を解消! 小学生の人間関係」, 『AERA with Kids』2022年春号, 朝日新聞社, 3月
2. 東京都公立幼稚園園内講師, 東京都公立幼稚園, 6月
3. 公認心理師受験対策講座講師, 日本スクールカウンセリング推進協議会, 6月
4. 東京都公立小学校道德教育講座講師, 東京都公立小学校, 10月
5. 埼玉県学校保健会 埼玉県学校保健会西部高等学校等保健会研修講師, 埼玉県立高校, 11月
6. 心の健康ニュース「相手と仲良くなれる“聴くスキル”」, 少年写真新聞社, 12月
7. 東京都公立中学校校長会研修講師, 東京都公立中学校, 12月

遠藤 寛子 准教授

【著書】

1. (部分単著) 「筆記開示法による怒りへの対処」, 有光興記監修 『感情制御ハンドブック』, 北大路書房, 2月

【論文等】

1. (他共著) 論文「小学校・中学校における心理教育の受講頻度と有効度との関連—高校生に対する回想法調査より—」, 『目白大学心理カウンセリングセンター年報』Vol.19 no.20, 目白大学心理カウンセリングセンター, 3月
2. (他共著) 論文「スクールカウンセラーのいじめ対応効力感の特徴といじめ対応の現状に関する研究」, 『筑波大学学校教育論集』Vol.44, 筑波大学附属学校教育局, 3月

【学会、研究報告】

1. 遠藤寛子他, 「小・中学生の保護者におけるいじめの認知といじめについての知識・自己効力感の検討」, 日本教育心理学会第64回総会, オンライン開催, 9月
2. 遠藤寛子他, 「小学生の保護者向けいじめ予防プログラムの開発と効果検証」, 日本心理学会第86回大会, 日本大学, 9月

川久保 惇 准教授

【論文等】

1. (共著) Kawakubo, A. & Oguchi, T, 論文 “What Promotes the Happiness of Vacationers? A Focus on Vacation Experiences for Japanese People During Winter Vacation”, *Frontiers in Sports and Active Living* 4, Frontiers Media, 5月
2. (共著) Kawakubo, A. & Oguchi, T, 論文 “Looking Back on Your Travel Memories?: Effects of Memorable Tourism Experiences on Well-being via Daily Recovery Experiences”, *Tourism Analysis*,

Cognizant Communication Corporation, In press

【学会、研究報告】

1. Kawakubo, A. & Oguchi, T., “Relationship between travel mode choice, travel satisfaction and perceived risk to Covid-19: A case study in Japan”, 27th Asia Pacific Tourism Conference, Jeju (+ Online), 7月
2. 川久保淳・小口孝司, 「両想いになるとなぜ冷めてしまうのか?—蛙化現象の生起メカニズムの検討—」, 日本心理学会第86回大会, 日本大学文理学部 (+オンライン開催), 9月

【その他】

1. コラム (経世済民) 「私たちの幸福の在り方」, 『埼玉新聞』8月11日
2. 記事「心理学から見た「ネイル」の効果とは」, *THE BEAUTREC* No.512, ザ・ビューレック社, 11月

米村 朋子 准教授

【学会、研究報告】

1. Yamanoi, T. & Yonemura, T. et al., “Spatiotemporal Activities in Brain on Recognizing Ambiguous Figures”, 8th World Conference of Soft Computing, Baku, 2月

伊里 綾子 専任講師

【論文等】

1. (他共著) 論文 “Resting-state functional connectivity relates to interindividual variations in positive memory.”, *Behavioural brain research* 419, Elsevier, 2月
2. (他共著) 論文 “Benefits of group compassion-focused therapy for treatment-resistant depression: A pilot randomized controlled trial.”, *Frontiers in Psychology* 13, Frontiers Media, 8月

【学会、研究報告】

1. 伊里綾子他, 「社会的地位の自己評価の低さと抑うつ症状の因果関係の検討—COVID-19感染拡大前後の縦断調査—」, 日本心理学会第86回大会, 日本大学文理学部及びオンライン開催, 9月

【その他】

1. 原稿「心理職養成教育における学生の自己理解促進の重要性について」, 『心と社会』189号, 日本精神衛生会, 9月

佐藤 洋輔 専任講師

【著書】

1. (共訳) 佐藤洋輔・永谷美穂, 第3章「症状軽減のための認知行動アプローチ」, 高橋真理監訳『妊娠中および産後の不安と抑うつのための認知行動療法—症状の緩和でウェルビーイングを高める—』, サイオ出版, 7月
2. (部分単著) 第7章Topic17「LGBTのメンタルヘルスとウェルビーイング」, 応用心理学ハンドブック編集委員会編『応用心理学ハンドブック』, 福村出版, 9月

【論文等】

1. (他共著) 論文「動機づけ面接の中核的スキルはスマートフォン使用についてのチェンジトークを引き出すか」, 『認知行動療法研究』第48巻, 日本認知・行動療法学会, 5月

【学会、研究報告】

1. 「LGBTQに対する大学キャンパス風土尺度日本語版の作成」, 日本カウンセリング学会第54回大会, 聖徳大学, 8月

【その他】

1. 茨城県立医療大学第51回IPUSHミーティング ダイバーシティセミナー講師「ダイバーシティにおける学生支援の実際—SOGI/LGBTQを中心に—」, 茨城県立医療大学, 9月

泉水 紀彦 専任講師

【著書】

1. (部分単著) 第2章「パーソナリティの理解1: 概論」「コラム2 血液型と性格との関連」, 武田明典 編著『自己理解の心理学』, 北樹出版, 10月

【論文等】

1. (他共著) 論文 “Benefits of group compassion-focused therapy for treatment-resistant depression: A pilot randomized controlled trial”, *Frontiers in Psychology* 13, Frontiers Media, 8月
2. (共著) 泉水紀彦・桑原千明, 論文「大学生におけるSNS利用実態と精神的健康との関連の検討—社会的比較と妬みに着目して—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【学会、研究報告】

1. 泉水紀彦・寺島瞳, 「社交不安傾向の高い大学生を対象としたスマートフォンを用いた解釈バイアス修正法 (CBM-I) の効果の検討」, 第22回日本認知療法・認知行動療法学会, 高島屋日本橋ホール/コングレスクエア日本橋2F・3F, 11月

【その他】

1. 朝霞市不登校児童生徒支援員連絡協議会「思春期の子どもの心理とその対応について」, 朝霞市産業文化センター, 1月
2. 令和3年度 生徒指導・教育相談中級研修会「ロールプレイング・面接演習Ⅳ」, 越谷市教育センター, 8月

子ども発達学科

尾形 和男 教授

【論文等】

1. (共著) 福田佳織・尾形和男他, 論文「離乳食場面に見られる親子の相互作用の特徴とアタッチメント安定性との関連性—アタッチメント安定性の高低の子どもとその親のケースの比較—」, 『東洋学園大学紀要』第30号, 2月
2. (共著) 増南太志・尾形和男, 論文「青年の自己有能感形成に及ぼす要因の検討—幼少期の親子関係・内的作業モデルとの関連性から—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【学会、研究報告】

1. 福田佳織・尾形和男他, 「離乳宿場面における乳児の社会的随伴性の特徴—アタッチメント安定性の高い子どもと低い子どもの比較—」, 日本発達心理学会第33回大会, 東京学芸大学, 3月
2. 福田佳織・尾形和男他, 「離乳宿場面における父子および母子の情動表出と子どものアタッチメント安定性との関連」, 日本応用心理学会第88回大会, 京都工芸繊維大学, 9月

【その他】

1. コラム（経世済民）「改正育児・介護休業法 男性の子育て」、『埼玉新聞』9月15日
2. 東京都葛飾区男女平等推進センター研修会「父親の子育てが家族にもたらす影響」講師，東京都葛飾区男女平等推進センター，10月

坂田 知子 教授

【著書】

1. （部分単著）第6章「子どもの基本的な生活習慣と健康」，高橋弥生・白井達矢編『子どもの社会の未来を拓く－保育内容－健康』，青踏社，3月
2. （部分単著）「体育⑩思いっきり跳べー測定アプリと学習カードで記録を効率化する」「体育⑫生活習慣病を予防する－糖分・脂肪分・塩分を調べて食生活を見直す－」，浦野弘・森本昭宏編著『ICTを活用した小学校デジタル教材アイデア66』，ジダイ社，12月

【学会、研究報告】

1. 堀田正央・坂田知子，「保育実習におけるストレス対処能力（SOC）と実習評価の関連性の検討」，日本保育学会第75回大会，聖徳大学，5月

島田 和幸 教授

【著書】

1. （部分単著）「道徳科でのICT活用授業（第1学年）」「クラブ活動紹介での動画アップサイトづくり」「七夕集会などの児童会文書の共有化」「学級活動で使うアンケートの実施とグラフ資料などの活用方法」「卒業式などの学校行事のライブ配信」，浦野弘・森本昭宏編著『ICTを活用した小学校デジタル教材アイデア66』，ジダイ社，12月

【論文等】

1. （単著）論文「アメリカの公立学校における学力保障と教育言語」，『令和4年度大濠教育研究所紀要』，大濠教育研究所，12月

杉浦 浩美 教授

【論文等】

1. （単著）小論「分断されるコロナ禍の人々～社会を紡ぎ直すために何が必要か」，『生活経済政策』No.303，生活経済政策研究所，4月

【その他】

1. 川口市男女共同参画推進委員会（第6期委員長），川口市キュボラ本館，7月～
2. 埼玉学園大学公開講座「SDGsとジェンダー平等～未来のためにできること」，埼玉学園大学，10月
3. コラム（経世済民）「男女の賃金差 開示義務化」，『埼玉新聞』11月10日

杉野 裕子 教授

【著書】

1. （部分単著）「小学校算数編」，皇學館大学出版編著『教科指導・教育実習の手引き』，皇學館大学出版，2月

【その他】

1. プログラミング授業実践検証 第4学年算数「角度」導入，川口市立新郷南小学校，科研費基盤研究（B）

(課題番号JP20K02927), 6月

2. プログラミング授業実践検証 第4学年算数「分度器の導入」, 川口市立新郷南小学校, 科研費基盤研究(B)(課題番号JP20K02927), 7月
3. 埼玉学園大学公開講座「なぜ算数・数学を学習するのか」, 埼玉学園大学, 10月

長友 大幸 教授

【論文等】

1. (共著) 長友大幸・翁長武輝, 論文「校庭に残るサクラのシンボルツリーに対する児童の意識について」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

堀田 正央 教授

【著書】

1. (部分単著) 第1章「[外国につながる子ども]の保育とその保護者支援」, 日本保育協会・咲間まり子編著『[外国につながる子ども]の保育と保護者支援に使える外国語例文・絵カード集』, ぎょうせい, 7月

【学会、研究報告】

1. 堀田正央・坂田知子, 「保育実習におけるストレス対処能力(SOC)と実習評価の関連性の検討」, 日本保育学会第75回大会, 聖徳大学, 5月
2. 堀田正央・齋藤めい, 「同僚性が保育の質に与える影響」, 日本保育学会第75回大会, 聖徳大学, 5月

増南 太志 教授

【論文等】

1. (共著) 増南太志・尾形和男, 論文「青年の自己有能感形成に及ぼす要因の検討—幼少期の親子関係・内的作業モデルとの関連性から—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

三浦 正雄 教授

【著書】

1. (共著) 三浦正雄・上田敦子, 葉祥明監修『葉祥明の世界』, でくのぼう出版, 3月

【論文等】

1. (単著) 論文「『ある僧の奇蹟』にみる心身変容に対する花袋の解釈をめぐって」, 『近代文学研究』第33号, 日本文学協会近代部会, 6月

【その他】

1. 講演会コメンテーター, 葉祥明美術館, 7月

森本 昭宏 教授

【著書】

1. (共編著)(部分単著)「コマどりアニメーションをつくろう」「デジタル背景の影絵づくり」「3D立体の鑑賞を楽しむ」「デジタルコンテンツの鑑賞教育」, 浦野弘・森本昭宏編著『ICTを活用した小学校デジタル教材アイデア66』, ジダイ社, 12月

【学会、研究報告】

1. 森本昭宏他, 共催・グループ展「彫挑超展 彫刻家7人による展覧会」, 銀座アートホール, 4月

2. 森本昭宏他, 共催・グループ展「第8回記念ゲタ箱展」, 大田原市芸術文化研究所, 6月
3. 森本昭宏他, 共催・グループ展「Drowning Show展」, ギャラリー檜B・C, 6月
4. 森本昭宏他, 共催・グループ展「2022 CAFネビュラ展」, 埼玉県立近代美術館, 11月

【その他】

1. 「第69回所沢市子ども写生大会 絵画審査員&ワークショップ開催」, ところざわサクラタウン・東所沢公園, 10・11月

山本 幸正 教授

【著書】

1. (部分単著) No.21「音階をとらえたふしづくり」No.22「リズムでスタート・アップ」No.23「鑑賞の質を高めて交流しよう」No.24「リモート模唱・リモート合唱」No.47「リモート音楽集を開こう」, 浦野弘・森本昭宏編著『ICTを活用した小学校デジタル教材アイデア66』, ジダイ社, 12月

【論文等】

1. (単著) 論文「音名と階名を区別しその関係を理解するための教材の工夫—保育士、幼稚園・小学校教員の養成における試みを通して—」, 『学校音楽教育実践論集』第5巻, 日本学校音楽教育実践学会, 3月
2. (他共著) 第52回大会日本音楽教育学会共同企画VIラウンドテーブル「音楽の基礎力を培うアクティブ・リスニング—就学前教育・学校教育・教員養成を繋ぐコダーイ・アプローチ—」, 『音楽教育学』Vol.51 No.2, 日本音楽教育学会, 3月

【学会、研究報告】

1. 山本幸正他, 共同企画XIVラウンドテーブル「音楽科の教育内容を繋ぐわらべうた—能動的に聴く・歌う・創る・思考する喜びをもたらすコダーイ・アプローチの実践—」, 第52回大会日本音楽教育学会, オンライン開催 (国立音楽大学), 11月

【その他】

1. 子ども大学かわぐち講師「わらべうたであそぼう」, 川口市, 7月

吉野 剛弘 教授

【論文等】

1. (単著) 論文「旧制高等学校入試問題にみる中等教育に求められた水準—明治末期の旧制高等学校の数学の入試問題を通して—」, 『中等教育史研究』第29号, 中等教育史研究会, 4月
2. (共著) 吉野剛弘・大多和雅絵, 論文「教育課程における保幼小連携のあり方をめぐって—中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会幼児教育部会での議論を通して—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【その他】

1. 全国地方教育史学会第45回大会シンポジウム「都市の教育問題」コーディネータ・司会, 札幌市男女札幌市男女共同参画センター, 5月
2. コラム (経世済民)「教員不足とはいうけれど」, 『埼玉新聞』10月13日

川喜田 昌代 准教授

【著書】

1. (共著) OMEP日本委員会子どもの権利条約 (CRC) プロジェクト作成『OMEP子どもの権利条約』

プロジェクト報告書—自治体調査について—, コロニー出版, 12月

【学会、研究報告】

1. 川喜田昌代他, 共同ポスター発表「子どもの権利をめぐるOMEP日本委員会の変遷と取り組み—日本保育学会発表内容を中心に—」, 日本保育学会75回大会, オンライン開催 (聖徳大学), 5月
2. 川喜田昌代他, シンポジウム「子どもの権利条約 (CRC) を踏まえた保育・保育実践—世界スタンダードとしてのCRCとOMEPの役割—」, 日本保育学会75回大会, オンライン開催 (聖徳大学), 5月

【その他】

1. 2022年度千葉県保育士等キャリアアップ研修会講師, ビデオ収録, 6月
2. 特定非営利活動法人NCN理事長, 東京都, 1～12月
3. 子育て支援事業 (未就園児の親子対象) リングの部屋, 中目黒スクエア, 4～12月
4. 国分寺市子ども子育て会議 副議長, 国分寺市役所, 8～12月

東元 りか 准教授

【論文等】

1. (他共著) 論文「ピアノ弾き歌い授業における学習成果の検討—ハイブリッド型授業での試みを通して—」, 『小田原短期大学研究紀要』第52号, 小田原短期大学, 3月
2. (他共著) 研究ノート「保育者養成課程における「ボランティア活動」の授業に関する研究 (2) —子育て支援センターでのボランティア活動を中心に—」, 『小田原短期大学研究紀要』第52号, 小田原短期大学, 3月

【学会、研究報告】

1. 東元りか他, 「保育者養成における音楽教育についての一考察 (3) —旋律に着目して—」, 日本保育学会75回大会, オンライン開催 (聖徳大学), 5月
2. 東元りか他, 「保育者養成課程における実習事前活動としての「ボランティア活動③」—コロナ禍における物を介しての地域貢献—」, 日本保育学会75回大会, オンライン開催 (聖徳大学), 5月

藤野 好美 准教授

【その他】

1. 認知症家族支援講座講師, 群馬県高崎市, 1～2・7月
2. 認知症家族支援講座講師, 群馬県前橋市, 3月

石橋 優美 専任講師

【学会、研究報告】

1. 石橋優美他, 会員企画シンポジウム「児童・生徒の「教科内容の本質的理解」を促す授業デザイン— (2) どのような協同過程を組織するか—」, 日本教育心理学会第64回総会, オンライン開催, 8月
2. 石橋優美他, 「児童における産業立地の決定条件に関する理解の促進過程—生産者視点に立たせることの効果—」, 日本教育心理学会第64回総会, オンライン開催, 8月

佐内 信之 専任講師

【著書】

1. (部分単著)「学級開きの歴史—多様なつながりをめざす集団づくり—」, ネットワーク編集委員会編『コロナ世代の教師と学級開き』, 学事出版, 4月
2. (部分単著)「特別活動の歴史—創造を生み出す『学級文化活動』—」, ネットワーク編集委員会編『学校にプレイフルを取り戻す!』, 学事出版, 8月
3. (部分単著)「国語①わたしの宝物—撮影機能を使ってスピーチの質を高める—」「国語②お話づくりを楽しもう—写真で想像を広げる—」「国語③漢字の筆順を覚えよう—筆順アプリで繰り返し練習する—」「国語④200字ぴったりをめざせ—キーボード入力で要約文をつくろう—」「国語⑤アナグラムで遊ぼう—デジタル付箋で言葉遊びをする—」, 浦野弘・森本昭宏編著『ICTを活用した小学校デジタル教材アイデア66』, ジダイ社, 12月

【論文等】

1. (単著)論文「幼児期から児童期にかけての言葉遊び—回文絵本の分析による考察—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【その他】

1. 佐内信之他, 第19回夏のチャレンジ!全国小学生『未来』をつくるコンクール 作文部門審査員, オンライン開催(ベネッセ教育総合研究所主催), 11月

千崎 美恵 専任講師

【その他】

1. 埼玉学園大学公開講座「生涯発達における心理的課題と心の健康」, 埼玉学園大学, 10月
2. コラム(経世済民)「親支援による子ども虐待予防」, 『埼玉新聞』12月15日

堀田 諭 専任講師

【著書】

1. (部分単著)第20章「カリキュラム・マネジメントとカリキュラムづくり」, 荒井正剛編『中等教育社会科教師の専門性育成』, 学文社, 2月
2. (共訳)渡部竜也・堀田諭『真正の学び/学力—質の高い知をめぐる学校再建』(電子書籍), 春風社, 11月
3. (部分単著)「社会⑩私たちのまちと戦争—Teamsによる郷土資料館との連携授業—」「社会⑫デジタルマップをつくろう—Padletを使った福祉マップの共同編集—」, 浦野弘・森本昭宏編著『ICTを活用した小学校デジタル教材アイデア66』, ジダイ社, 12月

【論文等】

1. (単著)論文「対立場面における共同体の規範と互恵的対等性の重要性—小学校低学年特設領域「みかく」におけるA教師の実践を手がかりに—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第22号, 12月

【学会、研究報告】

1. 川口広美・堀田諭, 自由研究発表「社会科教師の社会的責任とは何か?—米国の社会科教師スタンダードの検討を通して—」, 社会系教科教育学会第33回全国研究大会, オンライン開催(兵庫教育大学), 2月
2. 川口広美・堀田諭, 「米国ワシントン州の場合—社会科を事例として—」, 科研成果報告オンラインセミナー(広島大学EVRI後援)「教師の専門職スタンダードはどう策定するべきか—日米の比較

から考える—], オンライン開催, 3月

3. 「主権者教育のための「自己調整」に着目した学習評価のあり方—英米圏における評価研究を手がかりに—」, 第11回愛媛主権者教育研修会, オンライン開催, 5月
4. 堀田諭・川口広美, 自由研究発表「社会科授業における熟議をどのように実現するか?—米国ワシントン州社会科教師スタンダードと学習スタンダードの関係を手がかりに—」, 第32回日本公民教育学会全国研究大会, オンライン開催(信州大学), 6月
5. 堀田諭他, 一般研究発表(ポスター発表)「優秀な教科教師の専門性とは何か?—NBPTS(全米教職専門職基準委員会)スタンダード社会科・体育科の分析を軸に—」, 日本教科教育学会第48回全国大会, 愛媛大学, 10月

【その他】

1. 高校生アイデアEXPO@Web審査員, オンライン開催(品川女子学院主催), 4月

